

編集後記

平成26年4月、太宰府市公文書館が開館いたしました。市史編さんを引き継ぐ形で事業を展開しておりました市史資料室を発展させて設立したものです。これに伴い、本誌も装いも新たに『太宰府市公文書館紀要一年報太宰府学—』として刊行することとなりました。通算第9号を迎える今号は、新たな歩みにふさわしい、実に多彩な内容で構成することができました。玉稿をお寄せいただいた執筆者・編者の方々にはこの場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。次第です。

今号の内容を簡単にご紹介いたします。まず、藤田の報告は、市行政文書の評価選別にかかるものです。その現状を分析しつつ、さらに問題点・課題を的確に整理しており、今後の公文書館業務の方向性の一端を示しています。高橋の論考は、石塔の分析を通じて宰府最福寺の実体に迫ろうとするものです。このような作業の積み重ねは、中世大宰府の姿を明らかにしていくうえで、きわめて重要な意味をもつものと考えます。

一方、朱雀の資料紹介は宰府鋳物師平井氏にかかる「平井家文書」「高嶋家文書」を翻刻も含めて紹介したものです。また目録として中川家文書目録、古代大宰府木簡関連文献目録を掲載いたしました。中川家文書は、市内在住の医師中川氏宅に伝えられた、近世の医師中川昌澤等に関わる文書群です。また文献目録は、川添顧問が市史編さん事業のなかで編まれた大宰府木簡関係文献目録を基礎として作成したものです。これらは公文書館の日常業務のなかから生み出されてきた成果であり、今後の太宰府学研究に少しでも資することができれば、と念じております。

さて、冒頭に述べました公文書館の開館により、これまで市史資料室において進めてまいりました文書資料部門（行政文書の保存・管理等）、太宰府学研究センター部門の各事業は、新たなステージに入ったものと考えています。関係各位におかれましては、今後とも相変わりがせずご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。（T）

太宰府市公文書館紀要一年報太宰府学— 第9号

発行日 平成27年3月31日
編集 太宰府市公文書館
〒818-0110
太宰府市御笠五丁目3番1号
TEL / FAX : 092-921-2322
E-mail:kobunshokan@city.dazaifu.lg.jp
発行 太宰府市
印刷 株式会社博多印刷
〒812-0028
福岡市博多区須崎町8番5号
TEL : 092-281-0041